

インド学チベット学研究

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

第 14 号

- 内藤昭文 『大乘莊嚴經論』第 IX 章における「法界清浄の六義」理解
—bauddhadhātu と dharmadhātu の意図する構造— (1)
- 那須円照 『婆沙論』第 75 卷「虚空と空界」及び『俱舍論』II. 55 c-d に対する
衆賢註「三つの無為、虚空、非択滅」
—Louis de La Vallée Poussin によって翻訳され註釈された
アビダルマ文献: 涅槃と無為一般に関わる諸テキストII
の和訳研究— (21)
- 那須良彦 俱舍論根品心不相応行論
—世親本論と諸註釈の和訳研究(4)— (48)
- 五島清隆 チベット訳『梵天所問経』—和訳と訳注(2)— (89)
- 岡崎康浩 サンギータラトナーカラ第 1 章試訳・その 3— (126)
- Vincent ELTSCHINGER Dharmakīrti against the *pudgala*— (185)
Isabelle RATIÉ
- Mark SIDERITS *Mūlamadhyamakakārikā* XXII-XXVII— (216)
Shoryu KATSURA

2010 年

インド哲学研究会

<http://www.jits-ryukoku.net/>

執筆者紹介

内藤昭文（ないとう しょうぶん）	龍谷大学非常勤講師
那須円照（なす えんしょう）	龍谷大学仏教文化研究所客員研究員
那須良彦（なす よしひこ）	龍谷大学非常勤講師
五島清隆（ごしま きよたか）	佛教大学非常勤講師
岡崎康浩（おかざき やすひろ）	広島県立三次青陵高等学校教諭
Vincent ELSCHINGER	オーストリア科学アカデミー研究員
Isabelle RATIÉ	オーストリア科学アカデミー研究員
Mark SIDERITS	ソウル大学教授
Shoryu KATSURA （桂紹隆 かつら しょうりゅう）	龍谷大学教授

編集後記

『インド学チベット学研究』の最新号をお届けします。

前号に引き続き内藤昭文氏の『大乘莊嚴經論』第9章の研究が巻頭を飾っています。その後二つのアビダルマ関係の論文が続きます。那須円照氏の論考は20世紀を代表する仏教学者ドゥ・ラ・ヴァレ・プサンの『婆沙論』と『順正理論』の仏訳の和訳研究であり、那須良彦氏の論考は前々号に引き続き『俱舍論』根品の「心不相応行」を扱う部分の諸注釈の和訳研究であります。さらに、五島清隆氏には前号に引き続き『梵天所聞經』のチベット訳からの和訳研究を、岡崎康浩氏には音楽書『サンギータラトナーカラ』第1章の和訳研究の第3部を寄稿して頂きました。

昨年龍谷沼田研究奨学金の受給者として龍谷大学に滞在した、オーストリア科学アカデミーのエルチンジャー氏は、同僚のラティエ氏と共著で、ダルマキールティの『プラマーナ・ヴァールティカ自注』に見られるブドガラ批判の研究を寄稿してくださいました。また、シデリッツ氏と編集子の共著である『中論頌』の英訳研究も今回で最終章に到達することができました。近い将来、しかるべき出版社から全体の改訂版を公刊するつもりであります。

最後になりましたが、本号もまた創刊者である神子上恵生先生の全面的な経済的支援によって刊行されたことを記して感謝の意を表します。また、いつものように乗山悟氏の献身的な努力により本誌の編集作業が完了したことに深く感謝いたします。このような形で本誌を刊行するのは次号（第15号）が最後になることと思います。それ以後はネット上の雑誌として継続していくかどうか関係者各位と相談の上決めていきたいと思っております。（SK 記）

『インド学チベット学研究』入手のご案内

本誌の入手を希望されます場合は、実費で頒布いたします。住所氏名および入手希望号・冊数を編集者の桂紹隆までご連絡ください。折り返し発送するとともに、費用の支払い方法についてご案内いたします。費用は各号いずれも本体1000円+送料実費となっております。

＜バックナンバーのご案内＞

第1号（品切れ）神子上恵生／唯識学派による外界対象の考察(2)—Tattvasamgraha と Tattvasamgraha-panjikā の23章外界対象の考察— 若原雄昭／仏教徒のジャイナ教批判(2)— 藤田祥道／『五百頌般若経』について—試訳（承前） 那須円照／有部の形実有論と経量部の形実有論（上） 原田和宗／＜経量部の「単層の」識の流れ＞という概念への疑問(I)

第2号 藤田祥道／クリキン王の予知夢譚と大乘仏説論—『大乘莊嚴經論』第一偈の一考察— 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(II) 那須円照／アビダルマの極微論(2)—極微が触れるか触れないかという問題を中心として 神子上恵生／唯識学派による外界対象の考察(1)—*Tattvasaṃgraha* と *Tattvasaṃgrahapañjikā* の23章外界対象の考察—

第3号 藤田祥道／仏語の定義をめぐる考察 岩本明美／『大乘莊嚴經論』第13章「修行章」—サンスクリットテキストと和訳— 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(III) 乗山悟／アルチャタの「推論の解明」—*Hetubinduṭīkā* 研究(1)(pp. 1-5)—

第4号 乗山悟／アルチャタの「綱領偈」解釈—*Hetubinduṭīkā* 研究(2)(pp. 6-11, 3) 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(IV) 那須円照／得・非得に代わる種子の理論 岡本健資／クナラ王子の物語—*Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa* 試訳(1)— 那須円照／アビダルマ研究ノート

第5・6号 神子上恵生／インド瑜伽行唯識学派における諸仏とのコミュニケーション 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(V) 岡本健資／クナラ王子の物語—*Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa* 試訳(2)— 櫻井良彦／説一切有部における衆同分の分類 Kiyoyuki KOIKE(小池清廉)／*Suicide and Euthanasia from a Buddhist Viewpoint —On Nikāya, Vinaya Pīṭaka and the Chinese Canon—* Satoru NORIYAMA(乗山悟)／*On the Maṅgala verse of Hetubinduṭīkā* Erich FRAUWALLNER(那須円照訳)／*Die Erlösungslehre des Hīnayāna* (小乗の解脱論)

第7・8号 村上真完／大乘仏教の起原 武田宏道／認識主体としてのプロダガラ存在に関する批判—『俱舍論』破我品の所説を中心にして— 那須円照／*Abhidharmadīpa* (『アビダルマディーパ』)の時間論<三世実有論>試訳 岡本健資／*Divyāvadāna* 第26章所収ウパグプタの物語試訳—猿の瞑想・娼婦への教化・マラーへの教化— 那須良彦／説一切有部における得と随得 Kiyoyuki KOIKE(小池清廉)／*Mental disorders from a Buddhist View, especially those within the Nikāya, the Vinaya Pīṭaka and the corresponding Chinese translations*

第9・10号 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜—I.『般若経』:「智慧の完成」を誹謗する菩薩と恐れる菩薩— 乗山 悟／アルチャタの「主題所属性論」—*Hetubinduṭīkā* 研究(3)(pp.114-1723)— 那須円照／*Pratisaṃkhyānirodha*—"Documents d'Abhidharma traduits et annotés par Louis de La Vallée Poussin: Textes relatifs au *Nirvāṇa* et aus *Asaṃkṛta* en général II." *Bulletin de l'École Française d'Extrême-Orient* 30: p. 272.11-292.17 和訳— 岡本健資／王弟ヴィータショーカの物語—*Divyāvadāna* 第28章 *Vīṭasokāvadāna* 和訳— Mark SIDERITS & Shoryu KATSURA／*Mūlamadhyama-kārikā* I-X

第11号 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜 III—『解深密経』:三無自性という一乗道の開示— 那須円照／『俱舍論』とその諸注釈における作用をめぐる論争—試訳 那須良彦／俱舍論根品心不相応行論—世親本論と諸註釈の和訳研究(2)— 志賀浄邦／*Tattvasaṃgraha* 及び *Tattvasaṃgrahapañjikā* 第18章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳と訳注(1) 岡崎康浩／サンギータラトナーカラ第一章試訳・その1 Peter SKILLING／*Mrgāra's Mother's Mansion: Emptiness and the Śūnyatā Sūtras*

第12号 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜 IV—『大乘莊嚴経論』：総括と展望— 那須円照／『アビダルマ・ディーパ』における心不相応行の研究(1) 那須良彦／俱舍論根品心不相応行論—世親本論と諸註釈の和訳研究(3)— 志賀浄邦／*Tattvasaṅgraha* 及び *Tattvasaṅgrahapañjikā* 第18章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳と訳注(2) 五島清隆／龍樹の仏陀観—龍樹文献群の著者問題を視野に入れて— Mark SIDERITS & Shoryu KATSURA / *Mūlamadhyamakakārikā* XI-XXI O. v HINÜBER / *The Advent of the First Nuns in Early Buddhism*

第13号 内藤昭文／『大乘莊嚴経論』の構成と第IX章「菩提の章」の構造—ウッターナ(X, k.1)の理解を踏まえて— 乗山悟／アルチャタの「遍充論」—*Hetubinduṭīkā* 研究(4)(pp. 17, 21–21, 10)— 那須円照／『アビダルマ・ディーパ』における心不相応行の研究(2) 志賀浄邦／*Tattvasaṅgraha* 及び *Tattvasaṅgrahapañjikā* 第18章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳と訳注(3) 五島清隆／チベット訳『梵天所問経』—和訳と訳注(1) 岡崎康浩／サンギータラトナーカラ第一章試訳・その2 Klaus Glashoff / *From Trairūpya via Hetucakra to Uddyotakara*

インド学チベット学研究 第14号

2010年10月発行

編集者 桂紹隆

発行者

インド哲学研究会 (代表者 桂紹隆)
Association for the Study of Indian
Philosophy

〒600-8128
京都市下京区七条大宮
龍谷大学文学部
桂研究室気付

DEPARTMENT OF BUDDHIST STUDIES,
FACULTY OF LETTERS,
RYUKOKU UNIVERSITY,
SHICHIJO OMIYA, KYOTO 600-8128 JAPAN

<http://www.jits-ryukoku.net/>

e-mail: skatsura@let.ryukoku.ac.jp

電話 (075) 343-3311 (大代表)

銀行口座 みずほ銀行 京都支店 (普)1003766 桂紹隆

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

(INDOGAKU CHIBETTOGAKU KENKYU)

<http://www.jits-ryukoku.net/>

No. 14, 2010

CONTENTS

Shobun A. NAITO,

The "Six Meanings of *dharmadhātuviśuddhi* " in the *Mahāyānasūtrālaṅkāra* Chapter IX
—The Structure of Chapter IX Implied by the Concepts of

" *bauddhadhātu* " and " *dharmadhātu* "----- (1)

Ensho NASU,

A Japanese Translation of *Vibhāṣā*, 75, sur *l'Ākāśa et l'Ākāśadhātu*; Saṃghabhadra,
Commentaire de *Kośa*, II, 55 c-d: *Les trois Asaṃskṛtas; Ākāśa; Apratisaṃkhyānirodha*
in "Documents d'Abhidharma traduits et annotés par Louis de La Vallée Poussin:
Textes relatifs au *Nirvāṇa* et aus *Asaṃskṛta* en général II." ----- (21)

Yoshihiko NASU,

On *Cittaviprayuktasaṃskāra* in the *Abhidharmakośa*, Chapter II

—An Annotated Japanese Translation of the *Abhidharmakośa*

and Its Commentaries (4)----- (48)

Kiyotaka GOSHIMA,

An Annotated Japanese Translation of

the Tibetan Version of the *Brahmapariṣcchā* (2)----- (89)

Yasuhiro OKAZAKI,

An Annotated Translation of the *Saṃgītaratnākara* Chapter 1 (3) ----- (126)

Vincent ELTSCHINGER and Isabelle RATIÉ,

Dharmakīrti against the *puḍgala* ----- (185)

Mark SIDERITS and Shoryu KATSURA,

Mūlamadhyamakakārikā XXII-XXVII----- (216)

Editor

Shoryu Katsura

Association for the Study of Indian Philosophy

Kyoto, Japan